

提言：南海トラフ超巨大災害に対する 実効性ある防災対策

金沢工業大学 地域防災環境科学研究所

教授・所長 高畠 秀雄

南海トラフ巨大地震により太平洋側の都市部に甚大な被害が発生します。日本を沈没させる恐れのある激甚災害に対して実効性のある防災対策を平成25年度 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（文部科学省）の採択を受けて3年間研究をしてきました。

本シンポジウムでは、研究成果に基づいた**提言**を実施することとなりました。皆様にはご多用の折恐縮でございますが、ご参加をいただき、共に我が国の持続発展を支える防災対策について語り合いたいと考えています。何卒万障お繰り合わせの上、ご出席の程よろしくお願い申し上げます。

記

日 時：平成28年2月23日（火） 10：00～16：25

場 所：大阪国際会議場 12階 特別会議場：大阪市北区中之島5-3-51

参 加 料：無料

主 催：金沢工業大学オープンリサーチセンター 地域防災環境科学研究所

後 援：国土交通省＜近畿地方整備局 中部地方整備局 北陸地方整備局＞

連 絡 先：〒924-0838 石川県白山市八束穂3-1

シンポジウム窓口 堀 TEL：076-274-7009 FAX：076-274-7102

E-Mail：ides@mlist.kanazawa-it.ac.jp

講演内容：HP：<http://www.kanazawa-it.ac.jp/ides/>

講演内容を事前に確認できます。

提言：南海トラフ超巨大災害に対する実効性ある防災対策

タイムスケジュール (受付:9時～ 会場:大阪国際会議場 12階 特別会議場)

10:00-10:20	主催者 挨拶 巨大地震に対する提言
10:00	杓掛 哲男 元・防災担当国務大臣
10:10	高畠 秀雄 金沢工業大学 地域防災環境科学研究所 所長
10:20-11:30	セッション1：巨大地震に対する提言
10:20	1-4 高畠 秀雄 金沢工業大学 教授 「長周期地震動による超高層ビルの横揺れ対策」について
10:30	1-5 田村 修次 東京工業大学大学院 准教授 「巨大地震による市街地の液状化対策」について
10:40	2-2 竹脇 出 京都大学大学院 教授 「巨大地震と巨大津波の連動作用における構造物の耐震対策」について
10:50	1-7 後藤 正美 金沢工業大学 教授 「巨大地震による既存木造住宅の耐震化対策」について
11:00-11:30	質疑等
11:30-12:30	昼休憩
12:30-13:30	セッション2：巨大津波に対する提言
12:30	1-2 栗山 善昭 国立研究開発法人港湾空港技術研究所 研究主監 「巨大津波に対する港湾施設の防災対策」について
12:40	1-3 増田 達男 金沢工業大学 教授 「巨大津波による火災対策」について
12:50	1-8 西村 督 金沢工業大学 教授 「巨大津波による大型石油タンクの防災対策」について
13:00-13:30	質疑等
13:30-15:10	セッション3：避難・支援に対する提言
13:30	1-1 田村 正行 京都大学大学院 教授 「超巨大災害発生直後における被害状況の迅速な把握対策」について
13:40	1-10 木村 定雄 金沢工業大学 教授 「超巨大災害での地域行政と地域住民が連携した防災力の向上対策」について
13:50	2-6 円井 基史 金沢工業大学 准教授 「超長期滞在避難所及び仮設住宅での生活環境改善対策」について
14:00	2-5 垂水 弘夫 金沢工業大学 教授 「超巨大災害時の自然エネルギー利用による地域の創電・節電対策」について
14:10	1-6 山岸 邦彰 金沢工業大学 准教授 「巨大津波による建物被害の迅速な災害復興対策」について
14:20	2-4 川村 國夫 金沢工業大学 教授 「救援・支援活動に使用する幹線道路の防災対策」について
14:30	2-3 宮里 心一 金沢工業大学 教授 「巨大地震・巨大津波による過大荷重を受けた社会資本施設の維持管理対策」について
14:40-15:10	質疑等
15:10-15:20	休憩
15:20-16:20	全体討議
16:20-16:25	まとめ 田村 正行

該当箇所に「○」を付けて2月13日(土)までにご返信下さい。

〒924-0838 石川県白山市八束穂3-1